

司書

磐城農業高等学校

平成30年度採用

わたしを表すKEY WORD

#図書館巡り

旅先などで近くに図書館があると、つい立ち寄ってしまいます。県内でも新しい図書館が続々と開館しており、オープン後はなるべく足を運ぶようにしています。

#ベランダガーデニング

農業高校に赴任して以降、趣味の一つとなりました。種から育てた植物が満開の花を咲かせた時は、喜びもひとしおです。

#積読

#健康第一

#メタル愛

**[職歴]**

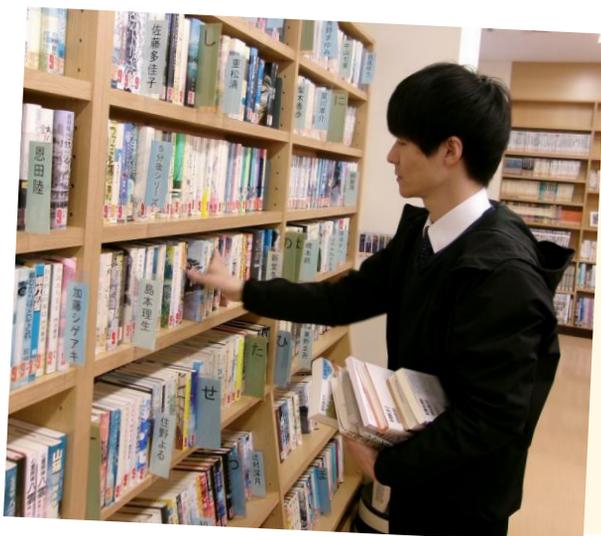
H30～ 福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム

R2～ 福島県立磐城農業高等学校

本を通じて、知の扉を開く

学校図書館の運営業務全般を担い、教員と協力しながら生徒の学習に役立つ図書館づくりを行っています。本の貸出・返却などの基本的な業務のほか、生徒に対する読書指導や図書委員会の運営など学校特有の業務があります。

誰もが訪れやすい雰囲気づくりを第一に考え、展示コーナーの作成やイベントの開催などを行っています。実際に生徒たちが楽しんでいる様子を見たときには、とてもやりがいを感じます。

**県職員を目指した理由**

司書という仕事を意識したのは高校生の頃、県立図書館を利用した際に、丁寧に対応してくれた司書の方を見てからです。

大学卒業後は他県の図書館で勤務していましたが、やはり地元である福島県で自分の力を発揮したいと思い、県職員を志望しました。

とある一日のスケジュール

8:10	始業・職員打ち合わせ
8:25	「朝の読書」巡回
8:35	新聞チェック
8:45	授業対応・書架整理等
12:00	昼休み

12:45	カウンター業務
13:20	授業対応・新刊受入等
15:10	生徒と一緒に掃除
15:35	放課後・カウンター業務
16:40	終業

自身の職種の魅力・面白いところ

自分の興味関心や学んだことを、即座に業務へ取り入れられるところです。

朝の新聞・ニュースで話題になっていることがあれば、関連する本を集めて簡易な展示を作成したり、お正月には自作のおみくじを作って学校図書館で配布したりと、「やりたいな」と思ったことはスピード感をもって行うことができます。

様々な分野にアンテナを張っておくことが重要です。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



司書として、誰もが気軽に利用できる「知の拠点」としての図書館を、県民の皆様幅広く知っていただくことが目標です。図書館を身近な場と認識していただき、読書や学びの機会を増やし、子どもたちの成長を支援することや、地域の文化や歴史を守り、伝えていくことで、福島県の未来に貢献していきたいです。

受験者へメッセージ

司書は人と本をつなぐ仕事です。読書を通じて人々の生活を豊かにし、社会に貢献できる、やりがいのある仕事だと思っています。試験対策は大変ですが、皆さんの夢が叶うよう願っています。